

# 令和5年度 大野町立西小学校 研究構想

学校の教育目標

## 考える子 助け合う子 きたえる子

～人間性豊かな たくましい児童の育成～

### 児童の実態

- ・仲間のよいところに目を向けることができるようになってきたが、自分のよさへの気付きは弱い。
- ・学習の中で人の話を聴く姿勢は身につくつある。
- ・自分の考えを進んで広めたり、分かりやすく相手に伝えたりする力は弱い。
- ・学習の中で自ら課題を見つけ、知識や経験を生かして進んで問題解決に取り組む姿勢は弱い。

### 願う児童の姿

- ・興味や関心をもって学習活動に取り組むことができる子。
- ・仲間の意見や既習事項、培った知識や生活経験を生かして学習に取り組むことができる子。
- ・各教科の見方や考え方を働かせて自分の考えをもち、進んで伝えることができる子。
- ・仲間との伝え合いを通して、考えを深めることができる子。

### 令和5年度研究主題

## 仲間と共に主体的に学び続ける子の育成 ～仲間と伝え合うことを通して～

### 研究仮説

児童の実態や学習の様子をもとに、興味、関心をもって学習に取り組む手立てを工夫し、見方・考え方を働かせることができるように、意図的・計画的に指導すれば、児童は、自分の考えをもつことができ、仲間と共に伝え合うことを通して、学びを深めることができる。

研究内容Ⅰ	研究内容Ⅱ
児童に働かせたい見方・考え方を明確にする指導方法、教材分析のあり方	児童が主体的に学びに向かう学習活動の工夫
(1) 働かせたい見方・考え方を明確にした単元構造の工夫。 (2) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化。	(1) 児童の興味・関心を高める導入の工夫。 (2) 教科の見方・考え方を働かせるための学習活動や指導・援助の工夫。 (3) 自分の考えや学習の高まりを確かめることができる振り返りの工夫。
【基本的学習姿勢の定着】	
・学習の月目標との関連。 ・仲間の話を理解しながら聴く。(反応、うなずき、質問) ・仲間に自分の考えを分かりやすく伝える。(順序立てて、ICTの活用)	・家庭学習での復習。

